

産地水産加工業イノベーションプラン支援事業 による支援事例～令和4年度採択分～

産地水産加工業活性化推進検討会

産地の若手経営者チームによるレベルアップ・スキルアップの取組

産地水産加工業イノベーションプラン

産地の加工業者・関係機関・異業種による生産性向上の取組

令和5年3月末現在
公益財団法人水産物安定供給推進機構

産地水産加工業イノベーションプラン支援事業(事例)

■産地水産加工業活性化推進検討会

➤ おきなわ水産加工業スキルアップ委員会

構成員：沖縄県内の水産加工業者2社、沖縄県漁業協同組合連合会、久米島漁業協同組合

産地の課題

○近年、新型コロナウイルス感染症の拡大やウクライナ情勢の影響を受け、水産加工業者の経営環境は年々厳しさを増している。

○消費者の簡便嗜好に対応した価格競争力のある高付加価値化商品の開発による、新たな販路開拓やEコマースなど販売チャンネルの多様化が必要。

○水産物に特化した商品開発スキルや最新の食品安全基準等への対応を学ぶことにより、沖縄県内水産加工業者のスキルアップを図る

課題に対する取組等

○沖縄県内に所在する漁協、水産加工業者を構成員として、Eコマースやコンビニエンスストア等大手小売店向けの商品開発を進めるために必要な、商品開発スキルの向上、関係法令の熟知を目的に、講師を招聘しての学習、指導の実施

成果や今後の課題

○**成果**：漁協や加工業者の若手職員に対する研修により、水産加工場の衛生管理をはじめ工場運営面でのシステムづくりに役立てられる。

○**課題**：沖縄県は地理的に消費地から離れているので、他にない高付加価値の商品づくりを行い魅力的な商品を提供し続けることが求められる。

支援内容

- 旅費
- 講師謝金
- 協議会運営費 等



産地水産加工業イノベーションプラン支援事業(事例)

■産地水産加工業イノベーションプラン

➤ 全銚子3K（環境、健康、飢餓）問題勉強会

構成員：銚子市内の水産加工業者4社、全銚子市水産加工業協同組合、銚子市、東日本信用漁業協同組合連合会

産地の課題

○当協議会は、業界の持続可能な発展と、環境・健康・飢餓問題をはじめとする社会貢献を目指し、取組を継続してきた。

○本年度は、**持続可能性に対する消費者・流通事業者の関心の高まり**に対応して収益の安定化・拡大をはかるとともに、**廃棄物の削減**や**従業員満足度の向上**などを通して生産性向上を目指す。

支援内容

- 旅費
- ファシリテーター謝金
- コンサルティング等委託費
- 成分分析費
- 動画制作費
- 協議会運営費 等

課題に対する取組等

○**持続可能な水産加工業による生産性向上に向けたロードマップ作成**：ワークショップによる

課題の把握・戦略の策定

○**環境・健康・飢餓の諸問題に関する調査**：協議会構成員に対する

SDGs調査、CO₂排出量の測定

○**生産性向上や持続可能な社会への貢献に向けた取組に関する情報発信**：動画、ランディング

ページの作成による情報発信

成果や今後の課題

○**成果**：業態の異なる4社の若手従業員が議論を重ねたことで、銚子全体での方向性を考えることができた。協議会活動を通して、持続可能性の考え方を学び、課題を共有。東京大学との共同研究で天然サバの環境負荷の低さを具体的に把握、銚子水産加工業の持続可能性の観点からの強み・弱みを整理。動画とWebサイトの制作を通して各社の思いが可視化

○**課題**：水産資源の減少。容易でない加工に要するエネルギーの削減。将来的な人手不足の懸念



産地水産加工業イノベーションプラン支援事業(事例)

■産地水産加工業イノベーションプラン

➤ 三陸水産物生産性向上協議会

構成員：釜石周辺(岩手県内)の水産加工業者4社、JTB総合研究所、釜石市

産地の課題

○三陸沖の水産物は多種多様な魚種が多く、**加工時の注意点や製造工程の教育**が難しく、スキルの定着、引継ぎ、教育に時間を要する。
○水産加工業労働者（派遣社員やパートタイマー、新入社員等を含む）の指導等について、**紙媒体からの脱却・デジタル化等による反復学習の場の提供**等を推進

課題に対する取組等

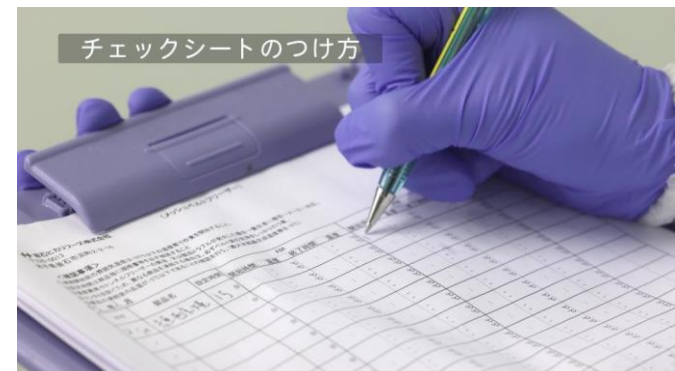
○協議会の開催による生産性向上に向けた方針策定：各社の取組状況の共有、異業種の事例も含めた対応（技術・生産工程の伝達、安全管理、労務管理等）を理解しながら、水産加工業労働者のスキルアップ等による生産性向上に向けた方針策定。先進事例視察
○水産加工業労働者向けの動画マニュアル制作：製造工程を撮影し字幕をつけた動画を制作

成果

○既存の紙マニュアルによるプロセス毎の個別対応での抜け漏れ、わかりづらい点などを整理。これまでのOJTメインが、動画活用により視覚的に理解、繰返しプロセス確認が可能となり、スキルの習得がより効率的になると期待
○構成員各社の生産プロセス、従業員への安全・衛生等の周知方法を比較、効率化について意見交換ができた
○先進事例視察により、HACCPに適合した生産工程の管理や、さらに高度な品質管理に取り組む製造ラインの作り方などが理解できた

支援内容

- 旅費
- 謝金
- コンサルティング等委託費
- 動画作成
- 協議会運営費 等



産地水産加工業イノベーションプラン支援事業(事例)

■産地水産加工業イノベーションプラン

➤ 境港水産物直売センター・イノベーション協議会

構成員：境港市内の水産加工業者5社、境港水産物直売センター協議会、山陰旋網漁業協同組合

産地の課題

○高齢化等による慢性的な人手不足。
賃金を大幅にアップできない中小規模の加工業者にとって、労働力の確保は既に個々では解決できない問題となっている。

境港水産物直売センター協議会では「イノベ協議会」を新たに設置、関係機関や異業種と連携することにより、構成員における生産性向上を目指す。

課題に対する取組等

○Webサイトの充実：新たな客層への訴求。消費者との直接交流を可能とし、リアルタイムでの消費者ニーズ把握を可能とする。

○販売促進研修会の開催：
マーケティングについてのノウハウを学ぶ

成果

○Webサイトの見直しを行い、情報発信に力を入れた結果、売上金額の増加につながった。新しい顧客層へのアプローチ、既存顧客との接点を深めることにより、ブランド認知度の向上に大きな成果、顧客の滞在時間を延ばし、コンバージョン率が向上

○定期的なコンテンツの更新やSNSでの情報発信など、継続的な取り組みにより、顧客との関係性を深め、リピート率が向上

支援内容

- 講師謝金
- Webサイト構築費
- 協議会運営費 等

